

- 平成12年に農業交流拠点施設「おおむら夢ファームシュシュ」を開業。農産加工品の製造・販売（6次化）のほか、食育体験や収穫体験など豊富なメニューで取組を展開。雇用拡大などを実現。

基本情報

- 所在地：長崎県大村市
- 選定表彰：
 - ・令和3年度農林水産祭「天皇杯」多角経営部門
 - ・令和2年度6次産業化優良事例表彰 農林水産大臣賞
 - ・第6回「ディスカバー農山漁村の宝」(R1)
 - ・平成19年度全国地産地象活動優良表彰（交流促進部門）農林水産大臣賞
- 主力商品・イベント：
 - ジェラート等、食育・農林漁業体験
- 活用した支援施策：
 - ・農業構造改善事業（施設立ち上げ時）

取組の概要

- 農業テーマパーク構想の実現のため、一年中観光客が訪れる交流拠点「おおむら夢ファームシュシュ」を開業。
- 地元農産物(生鮮品)のほか、6次化による商品開発でジェラート、プリンなど多数商品化し販売。レストランではランチバイキングやレストランウェディングなどを提供。
- 大村市グリーン・ツーリズム推進協議会と連携した観光・体験農業を展開。
- 大村市のふるさと納税の返礼品として、農産物の詰め合わせや加工品等を出品。



おおむら夢ファームシュシュ

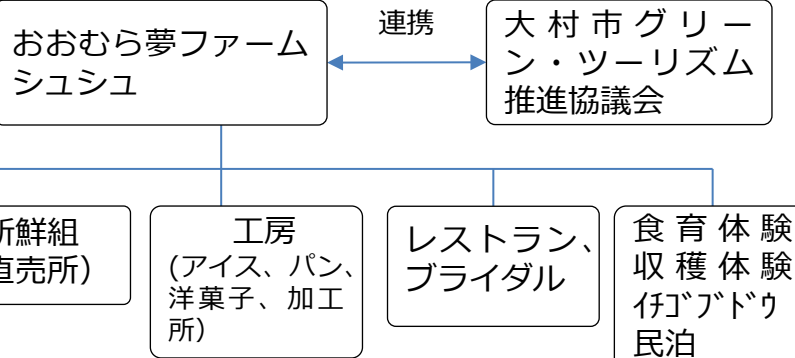


地元産の農産物を使用したジェラート



農産物を使用したオリジナル加工品

体制図



取組の成果

- 6次化による売上高：3.2億円（H26）⇒ 3.9億円（H30）
- 年間集客数：約49万人（H30）
- 食育・農業体験者数：約3万人（H30）
- 従業員：年間100名以上（季節雇用含む）
- 常時雇用職員の女性割合：8割

ウェブサイト▶<http://chouchou.co.jp/>

有限会社サンセイ・宇佐ジビエファクトリー

地域資源：農林水産物（ジビエ）

事業分野：食品、教育

事業主体：飲食店、猟友会、小学校、高校、大学

- 令和5年度に全国初となる狩猟から解体、加工、販売までジビエが丸ごと学べる「日本ジビエアカデミー」を設立。
品質の高いジビエを安定的に供給する仕組みを設けることで、ジビエ関連製品の売上や雇用の増加を実現。

基本情報

- 所在地：大分県宇佐市
- 選定表彰：
 - ・鳥獣対策優良活動表彰 農村振興局長賞 捕獲鳥獣利活用部門（団体）（R5）
- 主力商品・イベント：
 - ・猪肉・鹿肉（食用、家庭用ペットフード、サファリパークの給餌用）
 - ・ジビエソーセージ
 - ・イノシシハンバーグ
- 活用した支援施策：
 - ・大分県地域活性化総合補助金（H29）
 - ・鳥獣被害防止総合対策交付金（H30、R3～R5）
 - ・大分県地域活力づくり総合補助金（R4）

取組の概要

- 「日本ジビエアカデミー」を設立し、座学や実技を通じて衛生管理、栄養学、販売方法などを学ぶ場を提供するほか、処理事業者を対象に全国からの視察を受け入れ、ジビエの普及促進や利活用の拡大に広く貢献。
- 高品質なジビエを搬入する捕獲者の買取単価を上げ、捕獲者の意識向上を図る。
- 小学校の社会見学や、高校生・大学生のインターンシップの受け入れにより、鳥獣被害状況や被害対策をはじめ、ジビエの有効活用とサステナブルな活動について普及啓発をするほか、学校給食への供給を通じた食育活動も実施。
- 人間の嗜好に合わず食用に適さないジビエは、ペットフードや市内のサファリパークに提供し、捕獲したシカなどを無駄にしない「ジビエの地産地消」を実践。



ジビエソーセージ

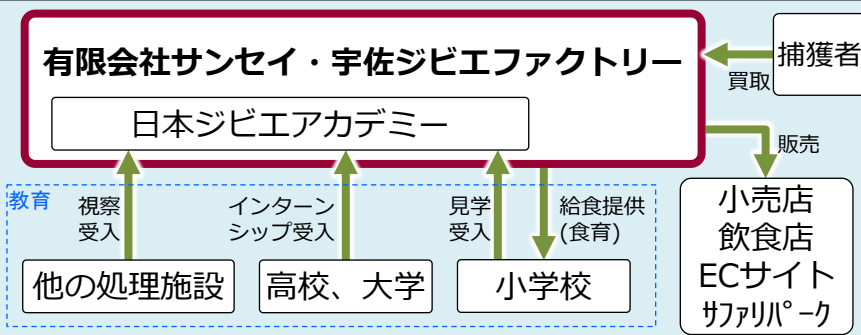


日本ジビエアカデミー



小学校の社会見学

体制図



取組の成果

- ジビエ関連製品の売上：81万円（H30）→ 4,000万円（R5）
- 社員数（雇用）：6名（H30）→ 18名（R5）
- ジビエ処理頭数：274頭（R1）→ 1,632頭（R5）
- インターンシップ受入数：0人（H30）→ 37人（R5）
- 視察受入数：40（H30）→ 95人（R5）
- 日本ジビエアカデミー研修申込者：85名（うち受講者数73名）（R5）

ウェブサイト▶<https://usa-gibier.com/>

株式会社 ぶんどおの 豊後大野クラスター

地域資源：農林水産物（さつまいも、かぼす、唐辛子）
事業分野：食品
事業主体：地元生産者、JA、食品メーカー、水産試験場 等

○撤退した食品メーカー施設の譲渡を受け、野菜加工品の製造・販売を実施。全量買取り等、生産者の意向に応じた買取りにより契約農家が増加。大型冷蔵設備を改修し、冷凍焼きいもを輸出することで販路を拡大。

基本情報

- 所在地：大分県豊後大野市
- 選定表彰：
 - ・第11回「ディスカバー農山漁村の宝」(R6)
- 主力商品・イベント：
 - ・さつまいも、かぼす、唐辛子等の加工品
- 活用した支援施策：
 - ・輸出等新規需要獲得事業（R2）（農林水産省）
 - ・農の雇用事業（R3）（農林水産省）
 - ・業務改善助成金（R5）（厚生労働省）
 - ・働き方改革推進支援助成金（R6）（厚生労働省）
 - ・IT導入補助金（R6）（中小企業庁）

取組の概要

- 撤退した食品メーカーの大型冷凍設備・加工機器の譲渡を受け事業を開始。農産物をカット、ペースト、乾燥、粉末に加工し、JA、食品メーカー、飲食店、スーパーなどの企業や、ECサイトを通じて個人向けにも販売。
- 地元生産者の意向（全量買取りや規格外品のみ買取り等）に応じて野菜を仕入れるとともに、原料の安定供給を図るために自社でもさつまいもの栽培を開始。
- 輸出等新規需要獲得事業で大型冷蔵設備を改修し、令和2年度より冷凍焼きいもの輸出を開始。
- 県の水産試験場と連携し、新ブランド「かぼすぶり」の養殖用飼料として、かぼすのペーストや粉末を共同開発。飼料の安定供給と魚の品質安定化に貢献。



譲渡を受けた施設

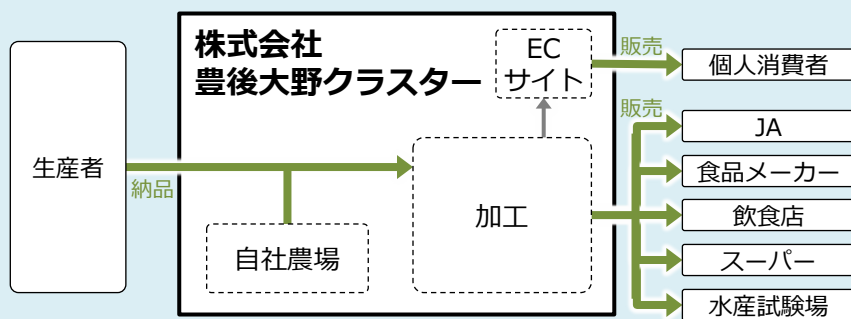


規格外野菜も使用した加工品



輸出を可能にした大型冷蔵設備

体制図



取組の成果

- | | |
|--------------|------------------------------|
| ○ さつまいも商品の売上 | : 約8百万円 (R1) → 約21百万円 (R5) |
| ○ カボス加工品の売上 | : 62万円 (R1) → 148万円 (R5) |
| ○ 契約農家数・延べ面積 | : 2軒・1ha (R1) → 10軒・6ha (R5) |
| ○ 会社の売上 | : 約3千万円 (R1) → 約5千万円 (R5) |

ウェブサイト▶<https://b-cluster.jp/>

- 離農家から農地を借り受け「むらさきもち麦」や米、大豆等を生産し、コンビニ等と連携した商品を開発・販売。
作付面積と加工品取扱量の拡大により雇用の創出を推進するほか、新規就農者向けの育成研修を実施。

基本情報

くにさき

- 所在地：大分県国東市
- 選定表彰：
 - ・農山漁村女性活躍表彰 農山漁村男女共同参画推進協議会会長賞（E若手女性チャレンジ部門）（R5）
 - ※受賞者：代表取締役社長 佐藤朋美氏
- 主力商品・イベント：
 - ・むらさきもち麦の加工品
- 活用した支援施策：
 - ・農山漁村振興交付金 農山漁村発イノベーション都道府県サポート事業（R2～5）
 - ・女性の労働環境整備・活躍強化事業（R5）

取組の概要

- 離農した農家の農地を借り受けて「むらさきもち麦」を生産し、美と健康をアピールした商品に加工・販売するほか、地域の主要産品（こねぎ、米、大豆等）の生産により、経営を多角化。
- 都道府県サポート事業の伴走支援を受け、大手コンビニエンスストアとコラボ商品を開発・販売するほか、スーパーやECサイト、ふるさと納税などにも販路を拡大。
- 作付面積と加工品取扱量の増加により、雇用の創出を実現。
- 農業大学等からの新規就農希望者の短期研修受入や、新規就農者の支援を行うなど、担い手の確保・育成にも取り組む。



収穫作業

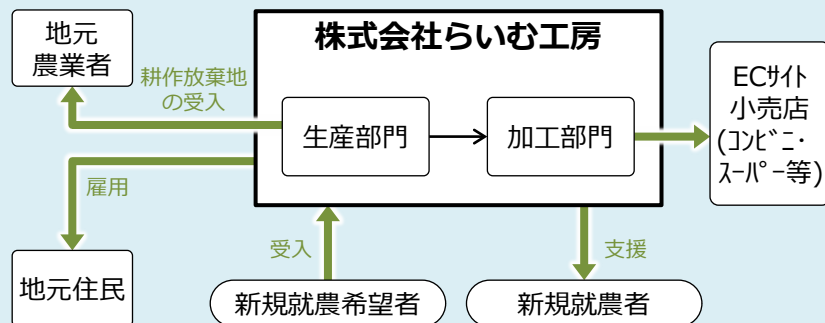


むらさきもち麦の加工品



商品化したコンビニ向けおにぎり

体制図



取組の成果

○ 経営全体の売上額	: 約1.2億円（R3）	→ 約2億円（R6）
○ 農地引受元の農家数	: 20戸（H22）	→ 519戸（R6）
○ 作付面積	: 60a（H22）	→ 133ha（R6）
○ 従業員数	: 20名（R3）	→ 42名（R6）

ウェブサイト▶<https://raimu-koubou.com/>

株式会社 高千穂ムラたび

地域資源：農林水産物、景観、廃校、空き家
事業分野：食品、観光・旅行、健康・医療、イベント
事業主体：観光協会、福祉作業施設、まちづくり公社

○自社独自の方法で栽培された米を地元農家から高値で買い取り、発酵食品等に加工作り販売するほか、棚田などの景観や地域の神話史跡などを情報発信し、外国人等の観光客を誘致することにより地元経済の活性化にも貢献。

基本情報

- 所在地：宮崎県高千穂町
- 選定表彰：
 - ・みやざきフードアワード審査員賞（R3）
 - ・フードメッセ新潟 準グランプリ（H30）
- 主力商品：
 - ・米加工品
- 活用した支援施策：
 - ・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）（R1～2）
 - ・GFPグローバル産地づくり推進事業（農林水産省）（R2～4）

取組の概要

- 地元農家に対し、米の栽培方法と買取基準を策定、一般の買取価格の約1.3倍で米を買取。甘酒、どぶろくのほか、米ぬかを活用したお菓子、ペットフード等の商品を製造・販売し、輸出にも取り組む。
- 大学生による米などのパッケージデザインをはじめ、若者による6次化商品の開発、販路開拓、プロモーションなどの事業体制を構築。
- 棚田の景観や、地域の神話史跡などを活かした観光商品の開発を行い、メディアやSNSを通じて情報発信。
- 海外の旅行会社と提携し、アジア圏域やヨーロッパからの旅行者が神楽を体験するインバウンド向けの事業も実施。



米発酵飲料「ちほまる」

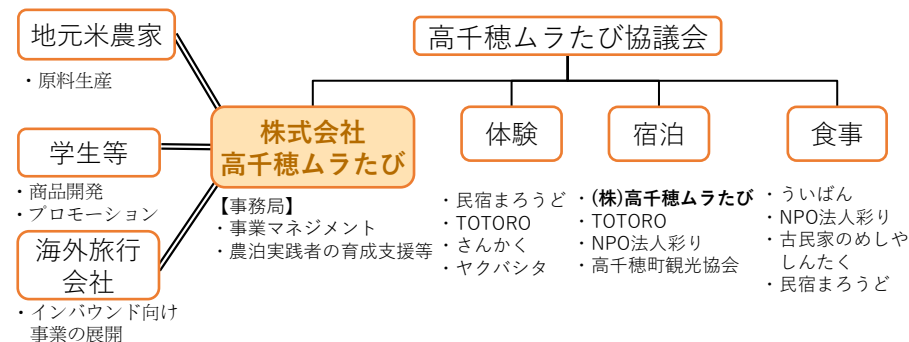


甘酒等の原料栽培で棚田保全



古民家食堂で夜神楽と食を楽しむ外国人観光客

体制図



取組の成果

- 加工品・宿泊等による法人の売上：65百万円（H29）→ 98百万円（R4）
- 甘酒等の加工品の売上：63百万円（H29）→ 89百万円（R4）
- 甘酒・菓子の輸出額：280万円（R1）→ 480万円（R4）
- 民泊・ゲストハウス等利用者数：207人/年（H29）→ 227人/年（R4）
- 若者の研修受入（人）：5人（H27）→ 80人（R4）

※新型コロナウイルスの影響により全体的に数値が落ち込み、R4時点も回復途上

ウェブサイト▶ <http://takachiho-muratabi.com/>